

PAT-NO: JP02000285042A

DOCUMENT-IDENTIFIER: **JP 2000285042 A**

TITLE: IMAGE COMMUNICATION DEVICE AND METHOD FOR COMMUNICATING
ELECTRONIC MAIL

PUBN-DATE: October 13, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
AKIMOTO, MASAO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA GRAPHIC COMMUNICATION SYSTEMS INC	N/A

APPL-NO: **JP11087976**

APPL-DATE: March 30, 1999

INT-CL (IPC): G06F013/00, H04N001/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To add a new function by a simple method without increasing cost as compared with a conventional device.

SOLUTION: The image communication device is provided with an address analysis means 207 for analyzing an inputted electronic mail address, a means 207 for executing processing corresponding to a specific identification(ID) code at the time of detecting the ID code and a transmission means 210 for transmitting the processed data in accordance with an electronic mail transfer protocol.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-285042

(P2000-285042A)

(43)公開日 平成12年10月13日(2000.10.13)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

G 0 6 F 13/00

3 5 1

G 0 6 F 13/00

3 5 1 G 5 B 0 8 9

H 0 4 N 1/00

1 0 7

H 0 4 N 1/00

1 0 7 A 5 C 0 6 2

審査請求 有 請求項の数5 O L (全 10 頁)

(21)出願番号

特願平11-87976

(22)出願日

平成11年3月30日(1999.3.30)

(71)出願人 000187736

松下電送システム株式会社

東京都目黒区下目黒2丁目3番8号

(72)発明者 秋元 正男

東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下

電送システム株式会社内

(74)代理人 100105050

弁理士 鷲田 公一

Fターム(参考) 5B089 GA11 GA21 GB03 HA01 JA31

KA01 KB06 KC27 KC37 KC58

KH03 KH30

5C062 AA02 AA13 AA29 AA35 AB17

AB42 AC02 AC22 AC28 AC35

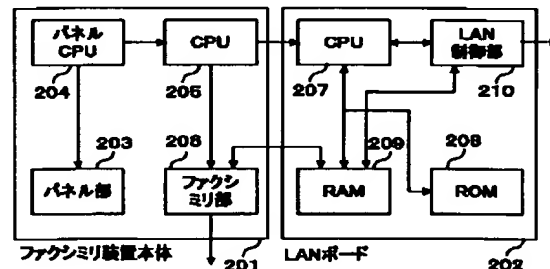
AF02 AF14

(54)【発明の名称】 画像通信装置および電子メール通信方法

(57)【要約】

【課題】 従来装置に対し、コストを増加させることなく簡易な方法で新たな機能を追加すること。

【解決手段】 入力された電子メールアドレスを解析するアドレス解析手段207と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段207と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信する送信手段210とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力された電子メールアドレスを解析するアドレス解析手段と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信する送信手段とを備えることを特徴とする電子メール通信装置。

【請求項2】 前記特定の識別記号は、電子メールアドレスの先頭に付加されたことを特徴とする請求項1記載の電子メール通信装置。

【請求項3】 複数の異なる識別記号を検出した場合は、それぞれの識別記号に対応づけられた複数の処理を実行することを特徴とする請求項1または請求項2記載の電子メール通信装置。

【請求項4】 請求項1から請求項3のいずれかに記載の電子メール通信装置を備えた画像通信装置。

【請求項5】 原稿を読み取ってイメージデータを得るスキャナ手段と、前記スキャナ手段が得た前記イメージデータを蓄積する記憶手段と、入力された電子メールアドレスを解析するアドレス解析手段と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記イメージデータに対して前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信する送信手段と、電子メール転送プロトコルに従って受信者情報を受信する受信手段とを備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項6】 送信元からイメージデータを受信するイメージデータ受信手段と、受信したイメージデータを蓄積する記憶手段と、電子メール転送プロトコルに従って受信者情報を受信する受信者情報受信手段と、受信した前記受信者情報に特定の識別記号が含まれているか否かを判定する判定手段と、前記判定手段が特定の識別記号を含むと判定した場合には前記記憶手段に蓄積したイメージデータに対して前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信する送信手段とを備えることを特徴とするサーバ装置。

【請求項7】 入力された電子メールアドレスを解析し、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行し、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信するプログラムを格納した記憶媒体。

【請求項8】 入力された電子メールアドレスを解析し、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行し、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信するプログラムを格納するメモリおよび前記プログラムを実行する中央処理部を備えたコンピュータ装置。

【請求項9】 入力された電子メールアドレスを解析する工程と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した

場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行する工程と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信する工程とを備えることを特徴とする電子メール通信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、特定の識別記号を認識してそれに対応した処理を行う電子メール通信装置およびこれを備えた画像通信装置に関する。

10 【0002】

【従来の技術】近年、インターネットの普及に伴い、例えばインターネットファクシミリ装置のような画像通信装置が実用されている。この画像通信装置は、ローカルエリアネットワーク（LAN）から専用線を介してインターネットプロバイダに接続する。これによりインターネットに接続し、このインターネットを介して異なるローカルエリアネットワークに接続した端末間で、画情報を電子メールとしてやり取りする。また、このような画像通信装置には、一般交換網やISDN等の通信手段を更に備えることによって、このような公衆網に接続された相手方端末と通信可能にしたものも実用されている。

20 【0003】上記の従来の画像通信装置では、既に実現されている機能に新たな機能を追加する場合、オペレータがその機能を有効または無効にするため、パネル部にスイッチを追加したり、ソフトウェアを変更する必要がある。例えば、暗号化機能を追加する場合、ハード的に機能の設定を行う装置であれば、パネル部に暗号化処理を実行させるためのスイッチを追加する必要がある。また、ソフト的に機能の設定を行う装置であれば、表示部における画面にメニューを表示させ、暗号化をするかしないかを選択することができるよう、表示部におけるソフトウェアを従来のものから新しいものに変更する必要がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ハード的に機能の設定を行う装置に対し、新機能を追加するためにスイッチを追加・変更すると、生産工程において管理コストや部品コストを増加させてしまうという問題が生ずる。また、ソフト的に機能の設定を行う装置に対し、新機能を追加するために表示部におけるソフトウェアを変更すると、開発コストを増加させてしまうという問題が生ずる。

【0005】本発明は、上記の問題点に鑑みてなされたものであり、従来装置に対し、コストを増加させることなく簡易な方法で新たな機能を追加することができる電子メール通信装置およびこれを備えた画像通信装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明者は、電子メールアドレスには送信先を特定する情報のみならず、他の記

号も付加することができることに着目し、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加し、付加された特定の識別記号が検出された場合にはこの識別記号に対応づけられた処理を実行させることができることを見出し、本発明を至るに至った。

【0007】すなわち、本発明は、入力された電子メールアドレスを解析し、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行することを特徴とする。

【0008】これにより、本発明者は、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することを可能とすると共に、オペレータが容易に入力操作を行うことを可能とした。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の第1の態様に係る電子メール通信装置は、入力された電子メールアドレスを解析するアドレス解析手段と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信する送信手段とを備える構成を採る。

【0010】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0011】また、本発明の第2の態様は、第1の態様に係る電子メール通信装置において、前記特定の識別記号は、電子メールアドレスの先頭に付加された構成を採る。

【0012】この構成により、特定の処理を行わせるためには、電子メールアドレスの先頭に特定の識別記号を付加すればよいので、オペレータの操作が簡単化すると共に、特定の識別記号の認識も容易となる。

【0013】また、本発明の第3の態様は、第1の態様または第2の態様に係る電子メール通信装置において、複数の異なる識別記号を検出した場合は、それぞれの識別記号に対応づけられた複数の処理を実行する構成を採る。

【0014】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、複数の異なる識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた複数の処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を複数追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合

は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0015】また、本発明の第4の態様に係る画像通信装置は、請求項1から請求項3のいずれかに記載の電子メール通信装置を備えた構成を採る。

【0016】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0017】また、本発明の第5の態様に係るファクシミリ装置は、原稿を読み取ってイメージデータを得るスキャナ手段と、前記スキャナ手段が得た前記イメージデータを蓄積する記憶手段と、入力された電子メールアドレスを解析するアドレス解析手段と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記イメージデータに対して前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルにて送信する送信手段と、電子メール転送プロトコルに従って受信者情報を受信する受信手段とを備える構成を採る。

【0018】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0019】また、本発明の第6の態様に係るサーバ装置は、送信元からイメージデータを受信するイメージデータ受信手段と、受信したイメージデータを蓄積する記憶手段と、電子メール転送プロトコルに従って受信者情報を受信する受信者情報受信手段と、受信した前記受信者情報に特定の識別記号が含まれているか否かを判定する判定手段と、前記判定手段が特定の識別記号を含むと判定した場合には前記記憶手段に蓄積したイメージデータに対して前記識別記号に対応づけられた処理を実行する手段と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルにて送信する送信手段とを備える構成を採る。

【0020】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、ハード的な変更を加えることなく新たな機能を追加することが可能となる。

【0021】また、本発明の第7の態様に係る記憶媒体は、入力された電子メールアドレスを解析し、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行し、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信するプログラムを格納した構成を採る。

【0022】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、ハード的な変更を加えることなく新たな機能を追加することが可能となる。

【0023】また、本発明の第8の態様に係るコンピュータ装置は、入力された電子メールアドレスを解析し、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行し、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信するプログラムを格納するメモリおよび前記プログラムを実行する中央処理部を備えた構成を採る。

【0024】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0025】また、本発明の第9の態様に係る電子メール通信方法は、入力された電子メールアドレスを解析する工程と、この解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行する工程と、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルにて送信する工程とを備える構成を採る。

【0026】この構成により、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0027】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

(実施の形態1) 本発明の実施の形態1に係る画像通信装置は、電子メールを送信する際に、送信先の電子メールアドレスの先頭に特定の識別記号、例えば「@」記号を付加する。この識別記号を検知すると、CPUは、特定の処理、例えば「暗号化処理」を行う。これにより、パネル部にスイッチを設けたり、パネル部におけるソフ

トウェアを変更することなく、新しい機能を追加することが可能となる。

【0028】図1を参照して、一般にメールサーバを介して電子メールを送受信する場合について説明する。図1は、電子メール通信システムの概念図である。PC101から送信された電子メールは、インターネット102上に設けたメールサーバ103の二次記憶装置104に貯えられる。受信側端末として画像通信装置（インターネットファクス；IFAX）105は、メールサーバ103に問い合わせを行い、着信メールが存在すれば受信動作を行い、メールサーバ103から電子メールを受信する。

【0029】メールサーバ103は、例えば、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）、POP（Post Office Protocol）サーバで構成されている。メールサーバ103は、二次記憶装置104に電子メールを着信順に蓄積している。メールサーバ103は、受信側端末から問い合わせがあると、ユーザ認証後、着信メールの総件数を通知する。また、メールサーバ103は、受信側端末から要求があった場合には電子メールを送信し、削除要求があった場合には電子メールを削除する。IFAX105は、ローカルエリアネットワーク（LAN）106を介して、または、ダイヤルアップ接続によりインターネット102に接続されている。

【0030】図2は、本発明の実施の形態1に係る画像通信装置のハードウェア構成を示すブロック図である。本発明の実施の形態1に係る画像通信装置は、ファクシミリ装置本体201と、LANボード202とを備える。ファクシミリ装置本体201では、パネル部203からユーザが各種の操作を行う。パネルCPU204は、このパネル部203から入力された信号を主に制御する。また、CPU205は、LANボード202へ出力する信号を制御すると共に、公衆回線における通信を行うファクシミリ部206を制御する。

【0031】また、LANボード202は、CPU207が、プログラムを実行し、装置全体の制御を行う。ROM208は、CPU207が実行するプログラムを格納する。RAM209は、プログラムが実行されたり、電子メール、画像ファイル等の各種データを一時的に記憶するメモリである。LAN制御部210は、インターネット102上で電子メールを送受信するために必要な手順を実行するインタフェースである。

【0032】このように構成された本発明の実施の形態1に係る画像通信装置は、送信時は、図示しないスキャナで読み取った生の画像をCPU207で圧縮データに圧縮し、この圧縮データをTIFFファイルに変換する。TIFFファイルには、原稿1ページに対して1つの圧縮データが複数格納される。電子メールの送信相手先のアドレスは、パネル部203からの入力に応じてC

PU205がCPU207に送信する。次に、CPU207において、TIFFファイルを添付ファイルとして含む電子メールを作成する。すなわち、TIFFファイルをテキストコード化し、MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions) のような複合構造化メールのデータ部に入れる。この後、LAN制御部210を介してメールサーバ103へ電子メールを送り出す。

【0033】一方、受信時は、LAN制御部210により、メールサーバ103から電子メールを受信し、CPU207において、受信した電子メールの添付ファイル部分をテキストコードからTIFFファイルにバイナリ変換する。その後、CPU207は、TIFFファイルを展開し、圧縮データを伸長し、この伸長した圧縮データをCPU205に送信する。CPU205は、受信したデータを図示しないプリンタに送出し、プリンタは画像を印刷する。

【0034】次に、本発明の実施の形態1に係る画像通信装置が、特定の識別記号を検知して、特定の処理を行う動作について説明する。ここでは、特定の識別記号は「@」を用い、特定の処理は「暗号化処理」を行うこととする。また、オペレータが、先頭に「@」記号付きの電子メールアドレス「@aaa@bbb.Ccc.co.jp」を入力した場合と、通常の電子メールアドレス「aaa@bbb.Ccc.co.jp」を入力した場合とを想定して説明する。

【0035】図3は、本発明の実施の形態1に係る画像通信装置の処理フロー図である。パネル部203から送信先のアドレスが入力されると（ステップS1）、パネルCPU204がこの入力信号を制御し、CPU205に送信する。CPU205は、入力信号を受信すると送信動作を起動する（ステップS2）。次に、CPU207は、図示しないスキャナで読み取った生の画像をMH形式の圧縮データに圧縮し、このMHファイルをTIFFファイルに変換する（ステップS3）。

【0036】次に、CPU207は、TIFFファイルを添付ファイルとして含む電子メールを作成し、MIMEデータ変換を行い（ステップS4）、電子メールアドレスの先頭に「@」マークが付加されているかどうかを判定する（ステップS5）。電子メールアドレスの先頭に「@」マークが付加されていない場合は、ステップS10に移行する。一方、電子メールアドレスの先頭に「@」マークが付加されている場合は、送信先の証明書があるかどうかを判定する（ステップS6）。この証明書とは、ITU-X.509に代表される、第三者の認証の入ったデジタル署名のことである。具体的には、S-MIME、SSL (Secure Socket Layer) の証明書で使用されている。送信先の証明書がない場合は、暗号化処理を行うことなく、署名処理のみを行う（ステップS7）。一方、送信先の証明書が

ある場合は、署名および暗号化処理を行う（ステップS8）。次に、再度MIMEデータ変換を行い、電子メールの送信処理を行う（ステップS10）。

【0037】このように、本発明の実施の形態1に係る画像通信装置によれば、電子メールアドレスの先頭に「@」記号があるかどうかを判定し、「@」記号がある場合は暗号化処理を行うことができるため、パネル部に暗号化処理をさせるためのスイッチ等を設ける必要がなくなる。また、オペレータは、画像通信装置に暗号化処理を行わせる場合は、電子メールアドレスの先頭に「@」記号を付加すればよいので、操作の簡易化も図ることができる。

【0038】なお、上記の説明では、特定の識別記号は「@」を用い、特定の処理は「暗号化処理」を行うこととしたが、本発明は、これらに限定されるものではない。

【0039】次に、本発明の実施の形態2に係る画像通信装置について説明する。本発明の実施の形態2に係る画像通信装置は、電子メールアドレスの先頭に複数の識別記号を付加し、これを認識することによって複数の処理を行う。これにより、パネル部にスイッチを設けたり、パネル部におけるソフトウェアを変更することなく、新しい機能を複数追加することが可能となる。なお、実施の形態2に係る画像通信装置は、実施の形態1と同様のハード構成を取るため、ここではハード構成の説明を省略する。

【0040】図4は、本発明の実施の形態2に係る画像通信装置の識別記号と処理内容との対応関係を示す図である。ここでは、識別記号として、「@」マークの他に、A～Cまでの記号を用い、それぞれに対応した処理内容が決められている。識別記号「A」が付加されていた場合は「署名処理」を行い、識別記号「B」が付加されていた場合は「暗号化処理」を行い、識別記号「C」が付加されていた場合は「JPEG処理」を行う。

【0041】次に、本発明の実施の形態2に係る画像通信装置が、特定の識別記号を検知して、特定の処理を行う動作について説明する。ここでは、特定の識別記号は、「@」と図4に示す「A～C」の記号を用い、特定の処理は、図4に示す「署名処理」、「暗号化処理」、または「JPEG処理」を行うこととする。また、オペレータが、先頭に「@」および他の識別記号付きの電子メールアドレス「@ABC@aaa@bbb.Ccc.co.jp」を入力した場合と、通常の電子メールアドレス「aaa@bbb.Ccc.co.jp」を入力した場合とを想定して説明する。

【0042】図5は、本発明の実施の形態2に係る画像通信装置の処理フロー図である。パネル部203から送信先のアドレスが入力されると（ステップT1）、パネルCPU204がこの入力信号を制御してCPU205に送信し、このCPU205が送信動作を起動する（ス

テップT2)。次に、CPU207は、図示しないスキャナで読み取った生の画像をMH形式の圧縮データに圧縮し、このMHファイルをTIFFファイルに変換する(ステップT3)。

【0043】次に、CPU207は、TIFFファイルを添付ファイルとして含む電子メールを作成し、MIMEデータ変換を行い(ステップT4)、電子メールアドレスの先頭に「@」マークが付加されているかどうかを判定する(ステップT5)。電子メールアドレスの先頭に「@」マークが付加されていない場合は、ステップT9に移行する。一方、電子メールアドレスの先頭に「@」マークが付加されている場合は、どの識別記号により付加機能が指示されているかどうかを判断する(ステップT6)。「@」マークの次の識別記号に応じた処理、例えば、この場合、「A」を検出した場合は、「署名処理」を行う(ステップT7)。

【0044】次に、「@」マークがあるかどうかを判定し(ステップT8)、「@」マークを検出しない場合は、ステップT6へ移行し、さらに付加された識別記号に応じた処理を行う。「@」マークを検出した場合は、処理した機能に「暗号化処理」があったかどうかを判断する(ステップT9)。処理した機能に「暗号化処理」が無かった場合は、ステップT11に移行し、処理した機能に「暗号化処理」がある場合は、MIMEデータ変換を行う(ステップT10)。

【0045】次に、送信先のアドレスを判定し(ステップT11)、その電子メールアドレスがアドレスの体を成しているかどうかを判定する(ステップT12)。送信先の電子メールアドレスがアドレスの体を成していない場合は、エラー処理を行い(ステップT13)、送信先の電子メールアドレスがアドレスの体を成している場合は、送信処理を行う(ステップT14)。

【0046】このように、本発明の実施の形態2に係る画像通信装置によれば、電子メールアドレスの先頭に「@」記号があるかどうかを判定し、「@」記号がある場合は、次にどの識別記号が付加されているかどうかを判定し、その識別記号に対応した処理を行う。このため、パネル部に暗号化処理をさせるためのスイッチ等を設けることなく、複数の新機能を追加させることが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に暗号化処理を行わせる場合は、電子メールアドレスの先頭に「@」記号と付加機能に対応した記号を付加すればよい

ため、操作の簡易化も図ることができる。
【0047】なお、上記の説明では、特定の識別記号は、「@」と図4に示す「A～C」の記号を用い、特定の処理は、図4に示す「署名処理」、「暗号化処理」、または「JPEG処理」を行うこととしたが、本発明は、これらに限定されるものではない。

【0048】また、上記の実施の形態では、本発明に係る画像通信装置をインターネットファックス105に適

用した場合について説明した。しかし、本発明は、一のクライアントからイメージデータを受信して他のクライアントに配信するサーバにも適用が可能である。また、本発明は、上記実施の形態に係るインターネットファックス105と同様の処理を実行するための、CPUで実行されるプログラムを格納した記憶媒体を包含する。さらに、本発明は、スキャナが接続され、かつ、ネットワーク通信部を備え、前記記憶媒体に格納したプログラムを実行するパーソナルコンピュータにも適用可能である。

【0049】さらに、上記の説明における暗号化処理は、S/MIME(PKCS Security Services for MIME)であってもよいし、PGP(Pretty Good Privacy)であってもよい。しかし、本発明は、これらに限定されるものではない。

【0050】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、電子メールアドレスに特定の識別記号があるかどうかを判定し、特定の識別記号がある場合は、この識別記号に対応づけられた処理を行うことができるため、パネル部等に特定の処理を実行させるためのスイッチ等を設けることなく新たな機能を追加することが可能となる。また、オペレータは、画像通信装置に特定の処理を実行させる場合は、電子メールアドレスに特定の識別記号を付加すればよいため、操作の簡易化も図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】電子メール通信システムの概念図

【図2】本発明の実施の形態1に係る画像通信装置のハードウェア構成を示すブロック図

【図3】本発明の実施の形態1に係る画像通信装置の処理フロー図

【図4】本発明の実施の形態2に係る画像通信装置の識別記号と処理内容との対応関係を示す図

【図5】本発明の実施の形態2に係る画像通信装置の処理フロー図

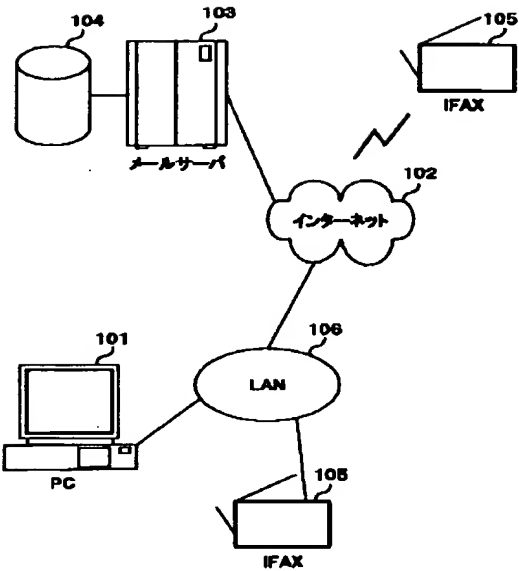
【符号の説明】

- 101 PC
- 102 インターネット
- 103 メールサーバ
- 104 二次記憶装置
- 105 インターネットファックス
- 106 LAN
- 201 ファクシミリ装置本体
- 202 LANボード
- 203 パネル部
- 204 パネルCPU
- 205、207 CPU
- 206 ファクシミリ部

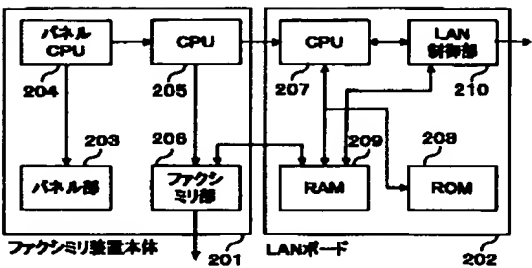
208 ROM
209 RAM

210 LAN制御部

【図1】



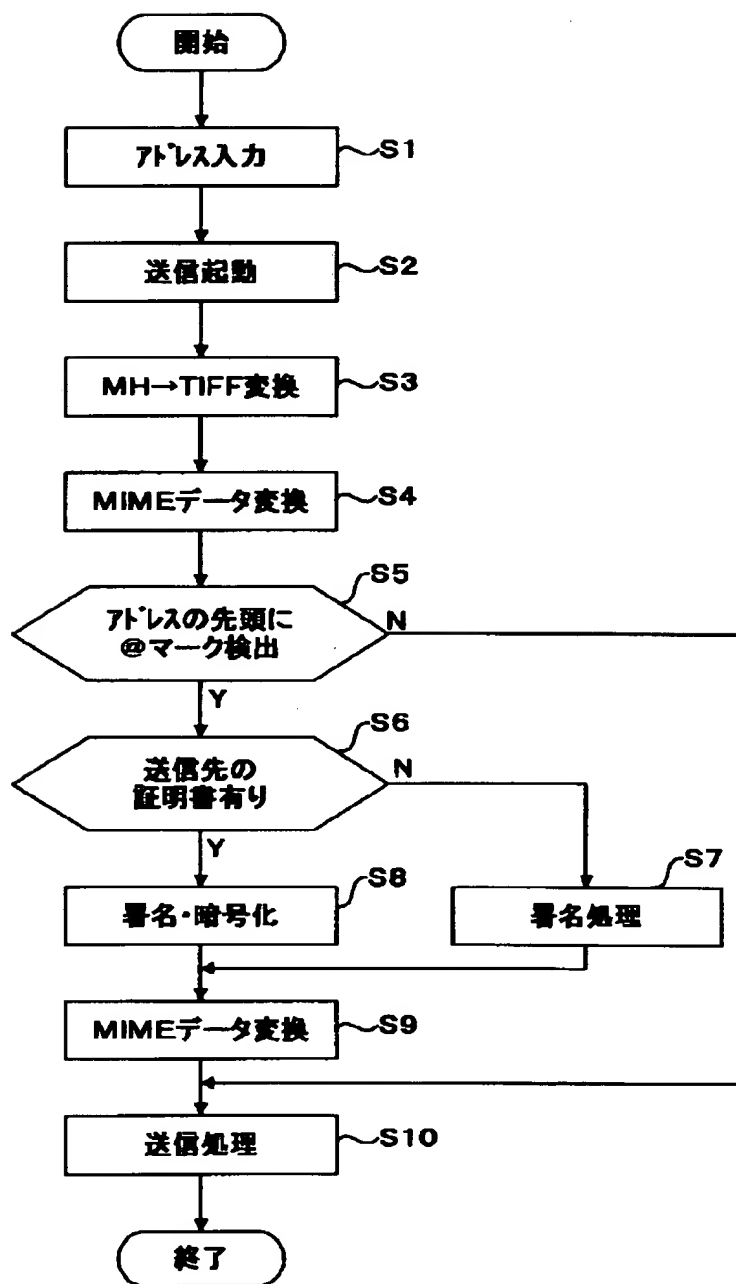
【図2】



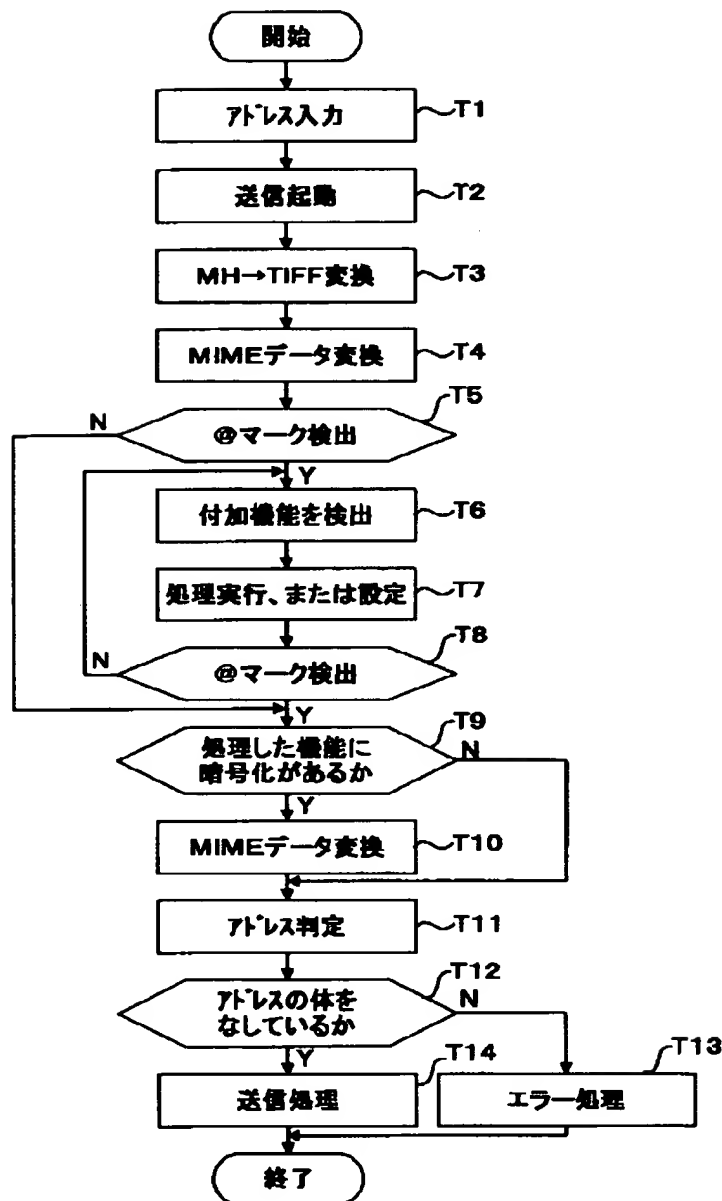
【図4】

識別記号	処理内容
A	署名処理
B	暗号化処理
C	JPEG変換

【図3】



【図5】



【手続補正書】

【提出日】平成11年12月28日(1999. 12. 28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】 画像通信装置および電子メール通信方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 アドレス入力を行う操作パネル部、原稿を読み取るスキャナ部、読み取った原稿をデータとして出力するとともに、ファクス制御を行うCPU部とを有

するファクシミリ本体部と、前記操作パネル部から入力された前記アドレスを解析するとともに、前記スキャナで読み取られ出力されたデータを受け取り、電子メールアドレスに変換して電子メールとして送信の制御を行うLANボード部とを備え、前記LANボード部は、前記アドレスの解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行し、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信することを特徴とする画像通信装置。

【請求項2】 前記特定の識別記号は、電子メールアドレスの先頭に付加されたことを特徴とする請求項1記載の画像通信装置。

【請求項3】 複数の異なる識別記号を検出した場合は、それぞれの識別記号に対応づけられた複数の処理を実行することを特徴とする請求項1または請求項2記載の画像通信装置。

【請求項4】 前記識別記号は「@」マークであることを特徴とする請求項1または請求項2記載の画像通信装置。

【請求項5】 原稿を読み取るとともに、送信先のアドレス入力を行うファクシミリ本体部とこのアドレスを識別して特定処理を行うLANボード部からなる画像通信装置において、前記ファクシミリ本体部では特定の識別記号を付して電子メールアドレスを入力し、このアドレ

スとともに読み取った画像を前記LANボード部に出力し、前記LANボード部では前記識別記号を判別し、前記画像を前記識別記号に対応した処理を施すとともに電子メールアドレスに変換して送信することを特徴とする電子メール通信方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、アドレス入力を行う操作パネル部、原稿を読み取るスキャナ部、読み取った原稿を出力するとともに、ファクス制御を行うCPU部とを有するファクシミリ本体部と、前記操作パネル部から入力された前記アドレスを解析するとともに、前記スキャナで読み取られ出力されたデータを受け取り、電子メールアドレスに変換して電子メールとして送信の制御を行うLANボード部とを備え、前記LANボード部は、前記アドレスの解析の結果、特定の識別記号を検出した場合は、前記識別記号に対応づけられた処理を実行し、この処理されたデータを電子メール転送プロトコルに従って送信するという構成を備える。